

大
報

おおだて

1988年 11月 1日号 (No.452)

— 住民登録 —

(12月1日現在)

人口・70,594人(+7)

男・33,421人

女・37,173人

世帯数・22,108世帯(-2)

()内は前月比

■編集と発行 大館市役所総務課

— スポーツ都市宣言 —

市の木・秋田杉 市の花・キク

▶大館カトリック幼稚園の子どもたち(忠犬ハチ公銅像前)



謹賀新年

明けまして おめでとうございます

市議会議長

奈良友二



市長

畠山健治郎



明けましておめでとうございます。重苦しい不況の中で迎えた昨年と違って、静かな中にも確かな手ごたえのある新年を迎える事が出来ました。

産業構造は確実にサーブिस、情報、レジャー等にウエイトが移行しております。と同時に一次や二次産業の中にも、これを導入して行く時であります。肝心の「人」がこのことに対応出来ないのでは困りますが、そこに確かな手ごたえを感じたのです。不況の中の苦勞は無駄ではありませんでした。その中から得た貴重な体験こそが大きな財産です。この財産から新しい財産を生む「動」の年でありますよう頑張りましょう。

謹んで新年のお祝詞を申しあげます。わが市を取り巻く景況にも、わずかながら「薄日」が差してきた感じをいたしておりますが、先行き、未だ不透明なものがあります。

変化の激しい社会経済下にある昨今、その変化の方向をよく見極めての政策が肝要であります。

議決機関である私ども市議会は、その機能を最大限に発揮しつつ、豊かな地域社会づくりと市民の至福を求めて、懸命の努力を続けてまいりますので、より一層のご支援ご協力をお願い申し上げます。皆様のご多幸をお祈り申しあげます。

市議会副議長

石賀忠行

出納室長

佐々木成美

八木橋雅孝

吹谷太郎

水道課長

栗庭栄次郎

鳥潟与四左衛門

伊藤武吉

議会事務局長

高橋光一

大坂谷征志

桜庭亥之助

選管事務局長

岩山吉利

日景比内

谷地一雄

農委事務局長

岩山吉利

佐藤芳雄

安達友美

監査事務局長

岩山吉利

伊藤久平

山内巖

教委総務課長

岩山吉利

西村久平

安達友美

社会教育課長

岩山吉利

佐藤久平

安達友美

社会体育課長

岩山吉利

伊藤久平

安達友美

市民文化会館館長

岩山吉利

高橋大松

安達友美

中央公民館館長

岩山吉利

菅原治昇

安達友美

中央図書館館長

岩山吉利

仲泉功

安達友美

中央図書館館長

岩山吉利

平泉庄治

安達友美

中央図書館館長

岩山吉利

島沢一郎

安達友美

中央図書館館長

岩山吉利

助役

丸屋

消防署長

岩山吉利

助役

丸屋

消防署長

岩山吉利

収入役

丸屋

消防署長

岩山吉利

企務課長

丸屋

消防署長

岩山吉利

総務課長

丸屋

消防署長

岩山吉利

職員課長

丸屋

消防署長

岩山吉利

財政課長

丸屋

消防署長

岩山吉利

税務課長

丸屋

消防署長

岩山吉利

市民課長

丸屋

消防署長

岩山吉利

市議会議長

丸屋

消防署長

岩山吉利

市議会議長

丸屋

消防署長

岩山吉利

若者たちは 大館が好き

今年^{たち}は辰年。そこで、「二十一世紀の大館」を担っていた若者たちの中から、昭和三十九年生まれ(年男・年女)の皆さんに今年の抱負などをインタビューしました。

インタビューの内容

- Q 1、お仕事は?
- Q 2、この仕事を選んだ理由は?
- Q 3、就職は地元にと決めていましたか?
- Q 4、今年の抱負は?
- Q 5、将来の夢は?
- Q 6、ひとこと自己PRを



バイクで海外へ
兜森 秀昭さん(鮎釣)

- 1、日野自動車で大車^{大型車}の整備をしています。
- 2、小さいころから機械いじりが好きだったので……。
- 3、都会へ就職しようとは思いませんでした。大館は四季がはっきりしているので好きです。夏はバイク、冬はスキーと年中楽しめますから。欲を言えば、モータースポーツができる場所があればもっと良いんですけど……。
- 4、大好きなバイクで、(国内は全部回ったので)こんどはシルクロードの走破かオーストラリアの縦走をしてみたいですね。でもむりかな。
- 5、海外青年協力隊へ参加して、発展途上国へ行ってみたいです。向こうへ行けば、機械に使われるのではなく、本当の人間同士のつきあいができそうな気がするんです。
- 6、バイク野郎です(暴走族じゃありませんよ)。現在恋人募集中ですので、街で見かけたら気軽に声をかけてください。



大館の人たちに恩返しを
成田 真亮子さん(城西町)

- 1、石田病院で看護婦をしています。
- 2、子供のころからのあこがれでした。人と接するのが好きで、人のためになるようなことをしたかったから。
- 3、自分が生まれ育った大館、自分を育ててくれた大館。だから、大館の人たちに恩返しをしなければならぬと思って……。
- 4、今以上に、患者さんから信頼され、患者さんから話かけてもらえるような看護婦になりたいですね。
- 5、高望みをしない性格ですので、これといってありません。今のままで、健康で働ければいいです。
- 6、いつも笑顔をやささないようにしている私です。背が高く誠実な男性が好きですのでどうぞよろしく。最後に、体調のすぐれない方は「石田病院」へどうぞ。



いつも明るい笑顔で
石田 征子さん(幸町)

- 1、ホテヤ幼稚園の教諭です。
- 2、子供が好きだから。それと、私もホテヤ幼稚園出身なんですけど、そのときの担任の先生の笑顔が心に残って……。あの先生のようになれたらいいなあってずっと思っていました。
- 3、大館から出て、他の土地で暮らすなんて考えたことがありませんでした。大館は自然に恵まれていますし、人も素朴でいいですね。
- 4、仕事、スポーツ、恋愛etc、何にでも積極的にチャレンジしたいと思っています。特に、雪国育ちなのにスキーが苦手なので、今シーズン中にうまくなれるよう練習します。
- 5、いずれ結婚したら、今の仕事を離れることになると思うけど、自分の子供が大きくなったらまた幼稚園の先生になってみたいですね。
- 6、いつも明るい笑顔でが私の信条です。結婚はまだ考えていませんけど、いい人に出会えたらいいと思います。

-10万人都市大館をめざし

主催 大館市 大館青年会議所



シンポジウム

まちづくり21世紀計画

10万人都市 おおだてをめぐり

昨年十一月二十八日、市と青年会議所が「第二回まちづくり二十一世紀シンポジウム」を開催しました。このシンポジウムでは、地場産業、観光、大学誘致についての三分科会に分かれ、熱心な討議が行われました。その後、東北大学教授の岡本友孝氏の講演も行われ、「まちづくり」の方策を教示していただきました。

各分科会では

▽第一分科会
テーマ「地場産業はいかにして生きのこるか」

コーディネーター
千葉工業大学講師 安東誠一氏
パネリスト
小倉製粉所 小倉隆夫氏
金属鉱業事業団

大館・弘前支所長 横川勝美氏
花岡鉱業所常務 石川洋一氏
市農協営農指導課長 武田一俊氏
秋田銀行大館支店長 渡辺 剛氏
現在の地場産業の現状や今後の方策などについて熱心に討議しました。

▽第二分科会
テーマ「大館の観光拠点づくり」
コーディネーター
県観光連盟会長 渡辺靖彦氏
パネリスト
秋田相互銀行

大館支店長 村山健一氏
交通公社大館支店長 一戸 晃氏
大館青年会議所 越後国行氏
市商工観光課長 浜松和平
市が建設を予定しているふるさ

とセンターが観光の重要な拠点として活用できるかについて話し合われました。
▽第三分科会
テーマ「大学誘致とそれを取りまく諸問題」

講演 四全総からみた 新しい都市づくり戦略

東北大学教授 岡本友孝氏



分科会終了後、東北大学教授の岡本友孝氏から「四全総からみた新しい都市づくり戦略」をテーマに講演が行われました。講演で岡本氏は、「先進国では農村部で人口が増えています。これは、農村部にパイオ、エレクトロニクス産業が入ってこないからです」「東北自動

車道とか東北新幹線沿いに位置していても、山形市や会津若松市には先端技術産業が進出していません。それは、環境がよいこと、何よりもきれいな水が豊富なこと、農家の長男という創造性に富み住宅難などでコセコセしたところのない魅力的な労働力がたくさんあるからなのです。これからの日本の産業は、東北の北部へと発展・進出していく可能性が十分にあります。『産業を興すには、一人ひとりの発想が大切で、見近なところにあるものをいかにして商品に高めるかが重要なことです。そして、そうするためには、情報を収集することがきわめて大切なことなのです。』などと話され、これからの都市づくりの方向を示唆してくださいました。

コーディネーター
比内町教育長 山脇平太郎氏
パネリスト
秋田南高校校長 荒谷 浩氏
県コミュニティカレッジ学長
大館桂高校PTA会長 浜田 章氏
大館に大学もしくは短大を誘致するためには、どのようにしたらよいかについて、また、現在の大学誘致についてどこまで進んでいるのかについて話し合われました。
※なお、各分科会の詳しい内容については五面から七面で広報市民リポーターのレポートにより紹介してあります。



▲写真左から、コーディネーターの安東誠一氏、パネリストの渡辺剛氏、石川洋一氏、横川勝美氏、小倉隆夫氏、武田一俊氏。

地場産品を愛する運動を

飯塚家司リポーター

第1分科会

「地場産業は いかにして生きのこるか」



コーディネーターの安東誠一先生をはじめ、パネリストの皆さん、ほんとうにすばらしい意見を出してくれました。その中で、私が参加した「第1分科会」の中味について集約してみました。

製粉所経営の小倉さん……いつも産業興しの心を持って物事を見ていけば、大館にも金の卵がゴロゴロ落ちていく、という話には一瞬驚きました。これはご自身でも

大館特産「山の芋」を粉末にして商売に生かしており、実践をともなった提言で、産業興しの心を教えられた気がしました。

花岡鉱業の石川常務さん……かつて二百五十億円近くあった大館の鉱石生産額も、六十二年度には六十億円程度まで落ち込むだろうとの話には、ただうなるだけでした。これは、大館市の一般会計規模が約百五十億円ですから、特別会計を合わせた額に相当します。極論を言えば、大館市がひとつ「な

くなつてしまつた」ような、大変な衝撃なのですが、そんな状態の中で、大館に根ざした企業として地元を踏み止まる努力は、血のにじみ出るようなものと想像されます。今まで蓄積された鉱山技術を

一条の光が見えた 高杉義勝リポーター

生かした希土類精製工場の新設や、産業廃棄物処理工場を設置するなど、雇用の場の拡大と、市外から「金」を持ってくる努力をしていることには、一市民として心強い企業だと感じるしいです。

農協の武田営業指導課長さん……減反政策による米生産額の減収分をカバーするため、転作物に力を入れており、山の芋、秋冬ネギ、枝豆等、特産地化を一層進め、産地間競争に挑戦しているということでした。

秋田銀行の渡辺支店長さん……「商店街の再開発、活性化を急がねばならない。それには第三セクター方式の導入も考えられるが、最も重要なことは、自らが努力することであり、中核ビル、飲食店、ゾーンの設置、駐車場の整備等、魅力ある商店街づくりを、「まちづくり」の観点にしては」という提言をしておられました。

金属事業団の横川支所長さん……「非鉄金属関係は、円高の進行等

私が参加した「第1分科会」を、パネリストのお話を中心にリポートしてみました。

金の卵は
目の前にある

小倉さん・私は製粉所を営んでいて、大館の山の芋も粉末にしています。ちょっとしたアイデ

により厳しい状況の中にあるが、高品位の黒鉱を産出する県北地区は国際市場でも太刀打ちできる、日本でも数少ない有望地帯である」とのことです。日常接する機会のない話を聞くことができた大変実りの多い時間を過ごすことができました。

「産業」は基本的には、個人または各企業に負うものであり、みんなで具体的な産業興しをしようとするれば、一定の段階まではいけますが、ある線を越えようとやりにくい面が出てきます。とはいっても、努力は続けなければなりません。何よりもみんなで地場産業が育つよう地元消費を高め、地場産品を愛する運動を継続的に展開するしかないような気がしました。

私たちが市民としては、産業祭、シンポジウム、物産展等各種催事を多く、しかも続けて実施していただき、知る機会、発言の機会を増やしてもらうことにより、郷土愛の心も育まれていくのではないかと感じました。



アや工夫で特産物となる。金の卵が、大館にはたくさんあるはずで、地域で何をすればよいかを、みんなで考えるべきです。

転作物の特産地化
武田さん・大館市農協では、転作

作物の特産地化を進めています。山の芋や五十八年に国の指定産地となったネギ、それに国技館で行う大相撲の際に機敷席へ出す枝豆など、産地間競争に打ち勝つために販路の拡大充実を図っています。

大館の鉱山は見通しがある
横川さん・現在は円高により、非鉄金属は厳しい状況ですが、大館の鉱山は高品位の黒鉱の産地ですので、まだ見通しがあります。

地元に根ざした企業に
石川さん・同和鉱業では、大館に二つの会社を設置しました。一つは希土類の精製工場、もう一つが産業廃棄物の処理工場です。産業廃棄物を大館に持つてくる、ということに抵抗がある方もいると思いますが、物を持つてくるということは「金」を持つてくるということにもなりますし、雇用の場の拡大にもつながります。このように、地元にも根ざした企業となるよう努力を続けています。

一歩前に出よう
渡辺さん・新しいものを生むためには、自らの努力が必要であり、一歩前に出物事を考えるべきです。

ちょっと言わせて
パネリストの皆さんの実践をもとにしたお話、ご提言を伺って、大館の地場産業に一条の光が見えた思いました。最近、女性型の企業が誘致されたことは大変喜ばしいことです。しかしその反面、工場の流れ作業の狭間に立ち、休む暇さえなく、公民館等で学習する人がぐつぐり少なくなっています。この複雑な社会で生きていくには、金の追求とともに生涯教育も必要ですし、両立させるためにはいかにあるべきかを考えたいものです。

ふるさとセンターに

もつと時間を

石田かずみリポーター



年会議所なので、もう少し若者が足を運んでくれる、普段で参加できるようなソフトなものでも良いと思います。

シンポジウムと名のつくものに参加するのは初めてでした。昨年の一回目にもそれなりの興味はあったのですが、私の足は向きませんでした。

これは大館に限らず言えることだと思いますが、このような催しに若者の姿が少ないようです。特に今回のシンポジウムは主催が青



▲写真左から、コーディネーターの渡辺靖彦氏、パネリストの浜松商工観光課長、一戸見氏、村山健一氏、越後国行氏。

第2分科会

「大館の観光拠点づくり」

—ふるさとセンターは観光拠点となりうるか—

私たち大館市民が、日常どっぷりとつきりすぎて盲目的になっている生活の中に、気づかずにいる点があることを示唆するパネリストの発言は、意義のあるものでした。私たちにあって、第三者的に外から大館を見つめてみることは、とても大切なことだと思います。話は前後しますが、私の参加した第二分科会は「大館の観光拠点づくり」(ふるさとセンターは観光拠点となりうるか)がテーマでし

た。けれども、渡された資料を見ると何かどこにでもあるような内容で、もう少し工夫して欲しい気分になりました。そんな中で「ふるさとセンターの構想を含めて、昨今パンパン造られている公共施設は、本当の意味での市民の立場で造られているのか」といった内容の発言が、青年会議所からのパネリスト越後氏からありました。ふるさとセンターはもつと十分な時間をかけ、市民を交えた話し合いをよって、煮詰めるべきでしょう。

他所者気分 で観光プランを

川上理佳リポーター

たとえば(シーズンに関係なく)一泊二日の大館観光プランをたててみましょう。時間のスケジュールの中に、かなりの空白が出てくるのではないのでしょうか。また、世代別にプランをたてるとなると、一層むずかしくなるような気がします。



点が多くありました。中でも、視点を交えてみることの大切さと、広い視野で物事を見ることの重要性は、あらためて認識させられました。

秋田大会館見学のほかに、「ハチ公物語」の感動を伝えることができるのでしょうか。

「買いたい物がありますか」
おみやげとして「曲げわっぱ」は有名ですが、観光客は、おみやげを買うのに加えて、その街の雰囲気を感じたくて商店街へ出向きます。普通はこれに時間がかかるものですが。

「観光」とはたぶん、時代とともにニーズが変わってゆくものだと思います。

今回のシンポジウムにおいて、私は「大館の観光拠点づくり」(ふるさとセンターは観光拠点となりうるか)と題した第二分科会に参加しましたが、他市からの講師・コーディネーター、パネリストのお話に、妙にうなずいてしまいました。大館市民にとっては、皮肉にもとれる辛言・甘言がありました。

「どうやって大館まで行くのですか」
交通の便の悪さは既知のことです。大半の人は東北新幹線を利用すると思われませんが、盛岡・大館間の「足」には、不満が多いと聞きます。

「きりたんぼを食べた後どうしようか」
本当にどうしようでしょうか。修学旅行生が、手作りきりたんぼに感動したと聞きますが、観光客みんなが手作りにトライできるのでしょうか。また、ほかに何をこちそうしましょうか。

「ハチ公物語がヒットしている中にいて、手をこまねいてはいませんか。」
「ないないづくしの街にあって、おっとり構えていられる皆さんは、かえってたいしたものだとも思えますね。」
これらは、そのまま観光客の不満でもあるのではないのでしょうか。

ふるさとセンターの「ふるさと」は、観光客の視点からもみていかななくては、単なる「市民憩いの広場」になってしまふような気がします。もしかすると「秋田犬、曲げわっぱ、きりたんぼ」以外の何かを、観光客は私たち大館市民に求めているのかもしれない。

どうか自己満足的な「ふるさと」になりませんように。また、大館に足りない「何か」の部分、しっかりと把握することができまうように。



「今大館が県下で一番目なのは人口だけです。工業、農業の出荷額、米の反当たり収量においても県北が県南に劣ってきています。また、中学生の学力、大学進学率にしても劣ってきている状況下にあります。しかも唯一の人口についても減少傾向にあり、こういう大館の現状をとらえて、大館の活性化のために大学誘致が一つの起

爆剤になりはしないか、また大学誘致が教育・文化的土壌の大きな刺激になりはしないかと考え、大学誘致の問題をとり入れたのです」と青年会議所・栗盛さんの説明で始まりました。

「二十一世紀を過ぎ、次の世代に何を残していきけるか……。三のさきがけテストにおいて大館はあまり芳ばしい結果がでていなかった。では、この地域の子供たちに能力がないのか、そうではない、この子供たちの先を見て行く意欲を、私たちが十分に掘りおこしていけないでいるから、私たちが、この地域を高めるために何が必要なのかを思考する姿勢を強く示すことによって、子供たちの意欲を高めることができるのではないか



▲写真左から、コーディネーターの山脇平太郎氏、パネリストの荒谷浩氏、浜田章氏、日景比内氏。

次代を担う

子供たちは……

佐藤康恵 リポーター

第3分科会

「大学誘致とそれを取りまく諸問題」

……。地域興しの基盤は「人づくり」です。人間性豊かな知性、意欲を持った人間を育てていくことにあります。子供たちが高まろうとしているとき、私たちが援護し手助けできるだけのものをもっていいのかということも思うとき、私たちが今どういう形で地域興しにつながっていくのかという模索を進めなければいけません。その一つが大学誘致です」と山脇先生から提言がありました。

大学誘致を考える場合どんな大学がよいのか。そして地域経済、文化面に与える効果や問題点、誘致の条件などが説明されました。教育に速効性はありません。今だ

めでも欲しいのだ、と声を出し続ける息の長さが必要だということでした。学歴重視、受験競争、偏差値偏重、大学入試での足切りなど、人を教育し能力を磨く場であったはずの学校が選抜の場となつてしまい、その結果ドロップアウトの増加、校内暴力、いじめ、登校拒否が生み出されたのではないのでしょうか。

二十一世紀を担う子供たちが、他人の痛みを思いやり、豊かなひろい心を持つ人間に育つてこそ、街の活性化、発展が期待できるのではないのでしょうか。それにしても、女性の参加者が少なかったのが惜しまれました。

安心してらせるまちに

秦 震 リポーター



まちづくりも所詮は人です。地場産業は情報収集力に弱い面が見られます。情報の九割は東京に集中しており、「高度情報化社会」といわれても、どこかの国の話やらといった感じがします。誘致企業がもし設備を修理しようとしても、地元では部品調達ができない

くなっています。また、大型公共事業には地元以外の大手企業が参入しています。誘致企業の多くを占める縫製工場では、その頭脳にあたる企画、デザイン、営業がほとんどなく、単なる製造のみ、労働力も低賃金の主婦の雇用が大部分です。真の活性化につながるとは考えられません。

観光面では、全国津々浦々で誘客運動が展開されており、単に景色がよい、物がうまい、名産品があるだけではなかなか人が来ません。あえて時間のかかる所に人が来るとすれば、自然に加えて、再び会いたい人がいるということですね。幸にして多彩な人間はまだ存在しています。

私の出席した大学誘致の分科会から考えれば、教育機関が県都に集中しているのは、東北六県では秋田県のみです。国立高専設立時に、今ある大館の姿を洞察して官民一体で誘致していたらと悔まれます。短大を一つ誘致するには最低二十億円かかります。(NHK調査) 既存のものを生かすとすれば、高等看護学院の医療短大化と職業訓練校の技術短大化が考えられ、その他、大学、企業、県等の試験場、研究所等小さなものでもすぐれた頭脳を集めてはどうでしょう。あるパネリストの言葉に「弘前人は大館に愛着を持っている」とありました。弘前大学、さらには岩手医科大学とも接触し医療短大化に結びつけることもよいのではと考えます。学院の卒業生は、市立病院看護婦の六割を占めています。県北医療のリーダーとして市病が活動しているのには、彼女たちの支えもあるのです。この伝統の灯を消さないように、市民行政一体となった行動が必要です。教育には、中長期的視野が大切であり、現在の財政的負担と未来にあるべき大館の姿とを勘案したとき、秋田でなく大館に学院を存続させる必要性は火を見るよりも明らかです。大館の地価は東京の十分の一以下と言われています。また失業者を一人でも少なくするために企業誘致と大学誘致は急務と考えます。

豊かな自然とゆとりある居住環境は、企業活動、知的活動に最適です。「安心して健康でくらせる大館」は永遠の課題でありましょう。

今年もよろしく

～私の年賀状～

今年の干支(辰年)にちなんだユニークで楽しい手作り年賀状を広報係で募集したところ、市民の皆さんからたくさんの作品が寄せられましたので紹介します。



斎藤初美さん
(柄沢字狐台・11歳)



川上圭悟さん(字館下・12歳)



加藤久江さん
(釈迦内字台野下・35歳)



安部薫さん(字相染沢中点・11歳)



明石京子さん(陣場・54歳)



市民スキー大会

とき・2月7日(日)

午前9時 開会式
午前10時 競技開始

ところ・大館スキー場(アルペン)
市民の森(フルディック)

種目・回転及び大回転
長距離及びリレー

申し込み・1月20日(水)正午まで
申し込み及び問い合わせ
社会体育課 ☎42-0310

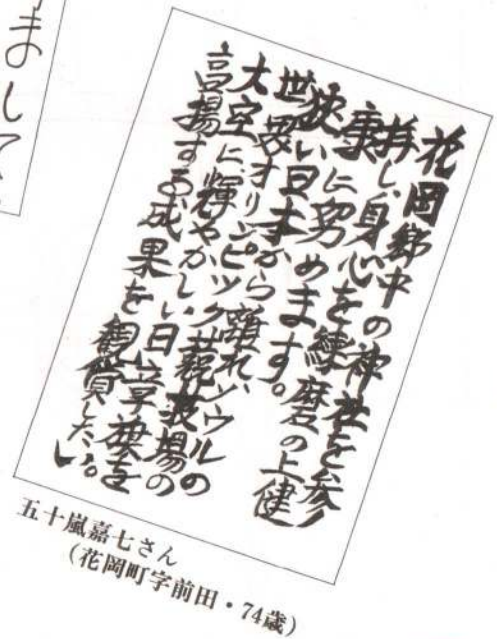
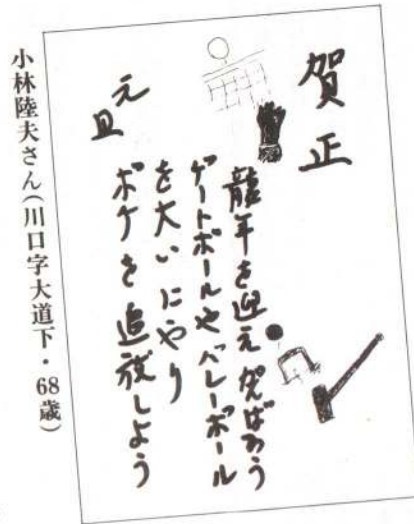
保育園のご案内

昭和六十三年度の保育園児をつぎのとおり受け付けします。現在入園中で、六十三年度も引き続き入園される方も申し込みください。

受付期間・1月5日～30日

▽城南保育園	☎42-1806	3歳以上児	150人
▽有浦保育園	☎42-1149	3歳以上児	90人
▽釈迦内保育園	☎48-2231	3歳未満児	30人
▽十二所保育園	☎52-2172	3歳以上児	35人
▽大館乳児保育園	☎42-5130	3歳未満児	10人
		0歳児	72人
		3歳未満児	45人
		0歳児	30人
		3歳未満児	52人
		0歳児	8人

申し込み及び問い合わせ
市福祉事務所(内線207)まで。
(十二所・釈迦内保育園でも受け付けします)



堀内孝雄コンサート

◆市民文化会館主催事業◆
とき・3月16日(水)
午後6時30分開演
ところ・市民文化会館
大ホール

入場料
S席 3,000円
A席 2,500円
B席 2,000円

※チケットは、二月一日から発売予定です。

法律	7日	18日
※事前に市民生活課(内線214)へ申し込みください。	9時30分~12時30分	9時30分~12時30分
交通事故	12日、19日、26日	10時~15時
家庭教育	11日、18日、25日	10時~15時
社会保険	6日、13日、20日、27日	9時~16時
国税	25日	10時~15時
会場・市役所会議室	10日、16日	10時~15時

消えたかな? 気になるあの火もう一度!

第16回大館市四季の観光
写真展作品募集

テーマ・大館市四季の観光、年中行事に関するもの
規格・カラースライドの部(35ミリ以上)
カラーの部(キヤビネ判以上)
モノクロの部(キヤビネ判以上)

応募期間・昭和63年1月5日～3月31日(郵送の場合は当日の消印有効)

送付先と問い合わせ
大館市字中城20番地

市商工観光課(内線284)

医療費通知書を
送ります

市では、国民健康保険加入者を対象に、六十二年度上半期にかかった医療費を「医療費通知書」でお知らせします。

この通知書は、六十二年四月から九月までに医療機関から請求があった、加入者ごとの保険適用分医療費や、診療日数を記載しています。

医療費通知書の内容で不明な点は保険年金課国保係(内線243)へお問い合わせください。

予防接種(三種混合)

へとき へ対象
1月13日(水) 二期
26日(火) 60年9月、10月生れ
27日(水) 60年11月、12月生れ
ところ・保健センター
受け付け・午後1時20分～2時

1月6日
消防出初式

新春恒例の消防出初式は、1月6日に挙行されます。

◇大館神明社

午前8時30分

◇無火災祈願

午前9時20分

◇大町商店街通り

午前9時30分

◇観閲式

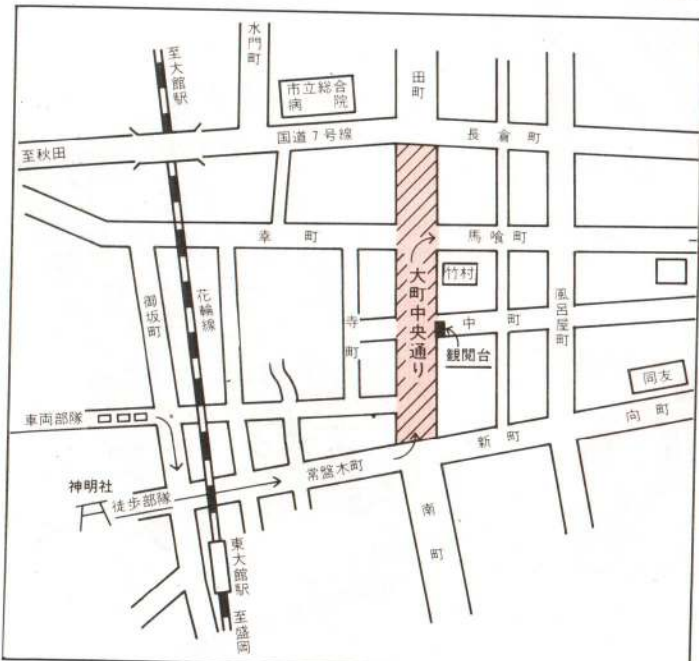
・まとい振り
・分列行進

※当日は7時30分にサイレンを鳴らします。

◇通行止め

出初式当日、大町商店街通り(部分)は、つぎの時間帯が通行止めとなりますのでご協力をお願いします。

午前8時30分～10時



雪山とスキーを
楽しんでみませんか

大館少年自然の家では、冬のひとときを有意義に過ごしていただけるよう、みなさんに施設をお貸しします。友だちやご家族でお気軽にご利用ください。

利用できる期間

・63年1月6日～3月25日

利用できる日

- ・少年自然の家の行事がある日
- ・多人数の団体が入っている日
- ・費用(一人当たり)
・朝食三百円、昼食四百円、夕食五百円、シーツ洗濯代百二十円
- ※昼食は希望によりおにぎりを作ります。また一家族に一部屋です。

在宅身障者の
将棋大会

とき・1月24日(日)午前10時～

市民の善意

- ▽老人ホーム扱い
曲田寿さん(軽井沢) 誕生菓子
高橋利子さん(御成町) 衣類ほか
千川流千川貴光さんほか

市理容組合ボランティア会員
美容奉仕
美容奉仕

第6回大館市世論調査
にご協力ください

市では、市民の皆さんが日ごろ行政に對して、あるいは日常生活を営むうえで、どのような意識をお持ちかを伺い、今後の行政運営の参考とするために、約千五百人を対象に世論調査を実施します。調査員が伺いましたら、よろしくご協力をお願いします。

調査期間・1月15日～21日
問い合わせ
市企画室企画係(内線271)

年始の水道設備
修理当番店

水道凍結事故などが発生したら、つぎの当番店へご連絡ください。

月日	当番店	電話番号
1月1日	古家燃料	42-2426
1月2日	内田設備	48-3416
1月3日	マコト設備工業	49-3525
1月4日	スギサワ環境設備	49-5508
1月5日	大館桂工業	49-1331
1月6日	三政建設	49-3696
1月7日	巽工業所	42-2906
1月8日	大館建築設備安全センター	42-5411
1月9日	田中工業所	42-3050
1月10日	東北電気工事大館営業所	42-2714
1月11日	古家燃料	42-2426
1月12日	マコト設備工業	49-3525
1月13日	三政建設	49-3696
1月14日	古沢総業	42-0288

1月は市県民税、国民健康保険税の第4期の納期です。
税金は納期内に納めましょう